

町会長連合会だより

平成27年3月1日

# からこま

唐沢山…藤原秀郷公の居城跡で、深い歴史を持つ山

## 第13号

発行 佐野市町会長連合会  
編集 会報編集部会



## 地域と学校の連携 ～戸奈良地区ふれあい運動会～



### ふれあい大運動会の始まり

平成9年、戸奈良小学校が教育委員会から学社連携融合研究校に指定されたのを機に、その活動のひとつとして、地域と学校が連携して開催する戸奈良地区の「ふれあい大運動会」は始まりました。地域と学校が共に活動し、ふれあいの活動を増やすことにより、子どもの健全育成や高齢者の生きがいづくりに寄与することを目的としたものです。

### ふれあい大運動会の活動

運動会は小学校チームと町内の11チーム、計12チームに分かれ、小学生主体種目である徒競走や障害物競争、町内対抗主体の種目である長縄跳びやボール蹴りリレー、玉入れ等、熱戦が繰り広げられました。町内対抗の種目では小学校チームも町内チームと競い合い、とても白熱しました。特に、最終種目である町内対抗リレーは火花を散らし、激しい争いが繰り広げられ、大変盛り上がりました。また、午後の冒頭の「とならっ子



ソーラン」の演技には、佐野ブランドキャラクターである「さのまる」も小学生と一緒にソーラン節を踊るなど、とても微笑ましい場面も見ることができました。

### 活動の効果

地域と学校が連携して開催し、様々な世代と関わることにより、子どもの協調性・連帯感・団結力などが養われていると感じました。また、地域住民にとっても「地域の子どもは地域で育てる」といった意識が高まり、かつて学校、地域が単独で運動会を開催していた時よりも地域内の世代間の人間関係が深められるなど、良い効果が表れていると感じました。

### ふれあい運動会を終えて

#### 飯田明生戸奈良西町会長談

18年の歩みを数える「ふれあい大運動会」を無事に終えることができ、関係者の皆様に大変感謝しております。少子化、高齢化、過疎化等で悩む地域と学校が連携し活動していくことは、とても喜ばしく思うとともに大変重要なことであると考えています。今後も伝統のあるこの行事を地域コミュニティの核として位置づけ、人々の絆を深めていきたいと考えております。

# 市長との懇談会を開催

2月13日(金) 葛生あくどプラザ小ホールにおいて連合会役員、葛生・常盤・氷室地区の町会長27名が出席し、岡部市長との懇談会を開催しました。地域の代表として、市民生活における様々な問題について意見交換しました。

## 牧地区産業廃棄物最終処分場建設への対応について

**町会長** 牧地区の産業廃棄物最終処分場の建設に対し、住民は非常に不安を感じています。が、市はどのような対応を考えていますか。

**市長** 市としては、事業計画に対する地元の皆様の意見を十分くみ取り、施設設置の許可権者である栃木県に

対して、建設反対の考えを伝えてまいります。



## 獣害対策について

**町会長** 野生獣被害とヤマビルにどの様に対応しますか。

**市長** 現在行われている有害駆除対策だけでは被害軽減は図れませんので、地域住民による獣害に強い地域づくりに協力をお願いします。

## 小中学校適正配置について

**町会長** 小中学校の適正配置について、常盤・氷室地区で協議を重ね要望書を提出してあります。地元の要望を優先していただきたい。

**市長** 「佐野市小中学校適正規模・適正配置基本計画」を策定するにあたり、「常盤・氷室地区の小・中学校のあり方についての協議会」から提出された要望書の意見を反映しました。また、今後基本計画に基づき事業を進めていきますが、その過程においても地元の意見や要望等を十分尊重していきたいと考えております。

## 葛生地区の将来の展望について

**町会長** 葛生地区の産業、観光を含めた将来の展望についてお聞きします。

**市長** 葛生駅周辺の活性化に向け、空き店舗対策や各団体と連携したイベントへの支援等に取り組んでまいります。また、現在の葛生庁舎跡地に行政サービスや図書サービスの拠点施設となる(仮称)葛生行政センターの平成28年度中の供用開始に向け、設計業務に着手しました。中山間地域の活性化として、県補助事業「里の守サポート事業」を取り入れ秋山地区をモデル地区として地域の皆様と共に「里の守未来プラン」を策定しているところです。



この他に、地域情報化事業の整備や常盤地区消防団の再編、空き家対策等の意見交換がされました。

## 町会は地域において様々な役割を担っています！

町会は住民の皆さんと共に、災害時の対応、隣近所との絆づくり、いざという時の相互扶助など地域のために様々な活動を行っている団体です。町会活動に対してより深いご理解をいただき、積極的に参加してください。



- **安全・安心な暮らしを守る活動** 町会では子どもたちの安全を守るための自主防犯パトロールや自主防災の組織をつくっています。また、防犯灯の維持管理や交通安全活動も町会が行っています。
- **親睦交流活動** 円滑な地域社会を進めるうえで、地域の人々が交流することは非常に重要です。町会では、お祭りや子ども会、敬老会への協力を通して子どもから高齢者までの暮らしを後押ししています。
- **環境美化活動** 地域で快適に暮らせるよう、清掃活動を通しての環境美化活動を行っています。ごみ集積所の管理運営も町会が行っています。
- **地域情報活動** 地域の事業案内や市役所・学校・警察などからの生活に必要な情報を回覧板や広報の配布を通して、提供しています。災害時などの緊急時においても有効な手段であると言われてしています。

永年在職の  
町会長・町会役員の方々が  
表彰を受けられました



1月13日佐野市町会長新春祝賀会（於どまんなかたぬま）、1月16日栃木県自治会連合会会長研修大会（於ツインリンクもてぎ）において、長年にわたる町会活動や地域の社会福祉向上に貢献された方々が表彰を受けられました。

（敬称略）

【佐野市町会長連合会永年在職町会長15年表彰】

小野 一郎 堀米町（内堀米）

【佐野市町会長連合会永年在職町会長10年表彰】

川崎 元 本町（佐野）  
倉持 武 角町  
飯田 明生 戸奈良西

【佐野市町会長連合会永年在職町会長5年表彰】

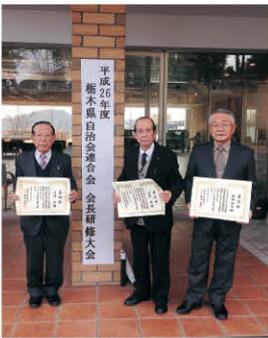
腰高 裕 若松町（城南）  
中山 文雄 関川町  
青木 孝悦 富岡町（北部）  
永瀬 進 田之入町  
赤坂 知久 並木町（中妻）

【佐野市町会長連合会永年在職町会役員表彰】

野口 光雄 本町（佐野）  
宮澤 紘一 植野町（泉）  
戸田 實 堀米町（横手）  
佐山 秀次 堀米町（内堀米）  
奈良原 守 奈良淵町  
船田 昭夫 免鳥町（市街道）

【栃木県自治会連合会自治振興功労者表彰】

川崎 元 本町（佐野）  
倉持 武 角町  
飯田 明生 戸奈良西



「唐沢山城跡の史跡化と  
今後の展望について」  
役員研修会を実施

研修にあたって

去る11月12日、町会長連合会役員研修会を「唐沢山城跡」の現地で行いました。講師に佐野市文化財課長の出居博氏を招き、史跡現場等を目の当たりにし、史跡の偉大さを再認識しました。地域を預かる町会長として、行政の動きや情報を把握することは重要であると考えています。市を象徴する唐沢山城跡が、平成26年3月18日に国指定史跡の指定を受けたことで、どのような効果や影響があるのかを知っておく必要性を感じ、今回の研修会を実施しました。

唐沢山城跡の評価

唐沢山城跡は関東有数の大規模な山城であるとともに、織豊系城郭として整備された数少ない城であることや、山頂部の高石垣や山麓部に営まれた居館跡群が良好に残るとともに、築城から廃城に至るまでの城郭の変遷を窺うことができるなど、中世城館の展開を知る上で重要である点が高く評価され、



国指定史跡に指定されました。

研修内容

唐沢山城は、それ以前に存在した清水城、以降の佐野城築城への歴史の変遷の中であり、経済の発展による街道や河川物流の進化などと深く関係があり、「さのらしさの継承」という重要な位置付けがあるということでした。また、市内には、唐沢山城跡以外にも鎌倉時代から戦国時代にかけての、佐野氏ゆかりの貴重な城跡・寺社仏閣が各所に残っており、郷土の誇れる歴史文化遺産があることに気づかされました。

今後の展望

唐沢山城跡の保存・整備・活用を図り、誇るべき郷土の歴史文化遺産の魅力を広く発信し、地域に残る伝統・歴史的景観を尊重し、貴重な城館跡の保護とともに、さのらしさの継承や創造につなげていきたいとのことです。私達は、この貴重な史跡を今まで以上に大切に思い、良好な状態で後世に伝えていく使命があると痛感し、研修会を終えました。

# 町会での防災活動・防災対策の取り組み紹介



東日本大震災や昨年広島で発生した土砂災害などを目の当たりにし、防災活動・防災対策への意識が日々高まっているところです。今回は、各町会で行った防災活動・防災対策への取り組みについてご紹介します。



## 菊川町会

菊川町会は、市の南西部に位置する町会です。

災害発生時の対応方法を学ぶため、「防災寺子屋」を開催し、町会内の約80名が参加しました。

内容は、2部構成で行われ、第1部として、「5月11日時にどうすればよいか」と題し、一般社団法人防災検定協会の浜口常務理事による講話を聞きました。「災害を自分のこととして、イメージすることが重要であり、首都直下型地震等の災害はいつ発生してもおかしくない。日頃の備えを万全にしておく必要がある」と話されるとともに、子どもの防災教育の重要性についても話されました。

第2部では市消防職員を講師に迎え、テコの原理を利用し、倒れた家具の下敷きになった人の救助方法や、AEDを使用した応急処置等についての実践体験をしました。

### 菊川町会 竹澤宏町会長談

防災寺子屋は、市消防、防災検定協会など様々な方の協力のおかげで開催することができました。改めて感謝申し上げます。また、老若男女問わず、町内の様々な会員の皆様に参加いただき、とても良い学びの機会になりました。地域において防災教育を行うっていくことは非常に重要であると考えますので、地域の皆さんで連携し、防災についての意識を高めていきたいと考えております。



## 飛駒地区3町会

飛駒地区は、市の北西部に位置し一区、二区、三区の3町会です。

飛駒地区では山間部に位置する地域の特性上、土砂災害警戒区域等に指定されている場所があります。

飛駒地区の3町会と飛駒地区公民館の共催により、市危機管理課職員を招き、防災講話を開催しました。約60名の地域住民に参加いただきました。

内容は、参加者へ土砂災害が発生しうる箇所を示した防災マップを配布し場所の確認を行ったうえで、どのような対策を行うことができるか、災害発生時の緊急避難体制を充実させ、緊急時の対応を定めておく必要性について過去に発生した災害を例に、学習を行いました。

### 飛駒3区町会 栗原喜一町会長談

地域の特性に沿った防災に対する知識を多くの地域住民と学ぶことができたのは、とても良いことでした。実際に防災マップを配布し、地域の危険な箇所について認識する事ができ、参加者からも、とても勉強になったとの意見を聞いております。今後は、地域において自主防災組織を立ち上げ、災害発生時に地域で対応できるように、今後とも防災に関する訓練や取り組みを行っていきたく考えています。



## 編集後記

◆3月11日。忘れることのできない4年前のこの日。未曾有の災害をもたらした東日本大震災。その後日本列島を襲う自然災害。広島での土砂災害、直近では長野県北部地震など。専門家は「首都直下型地震はいつ発生してもおかしくない」とも。

市でも「洪水土砂災害ハザードマップ」を作成し、全戸配布した。災害発生時、まず、自身や家族の安全を確保することが急務となる。そして、隣近所の助け合いが不可欠となる。長野県北部地震での白馬村がその指針を示してくれた。市内の町会でも菊川町会、飛駒地区の3町会が早速、防災対策への主体的な取り組みを実施した。参加者も多く、意識の高さを示している。自主防災組織を立ち上げる町会も多くなった。「まず、町会活動から」との合言葉で、できることから始めませんか。

(編集部会長 飯田)

発行者 佐野市町会長連合会

〒027-0801

栃木県佐野市亀井町2058-1

佐野市役所南飯庁舎1階

☎0283-20-3812

発行責任者

篠崎芳朋

編集委員長

飯田明生

編集委員

石山悦雄

小早川房平

室岡宣幸

長谷川博

柳澤敬一

▼佐野市町会長連合会は全域167町会で組織されています。